

今後の侵食対策の基本方針について

平成29年3月15日

千葉県

今後の侵食対策の基本方針について

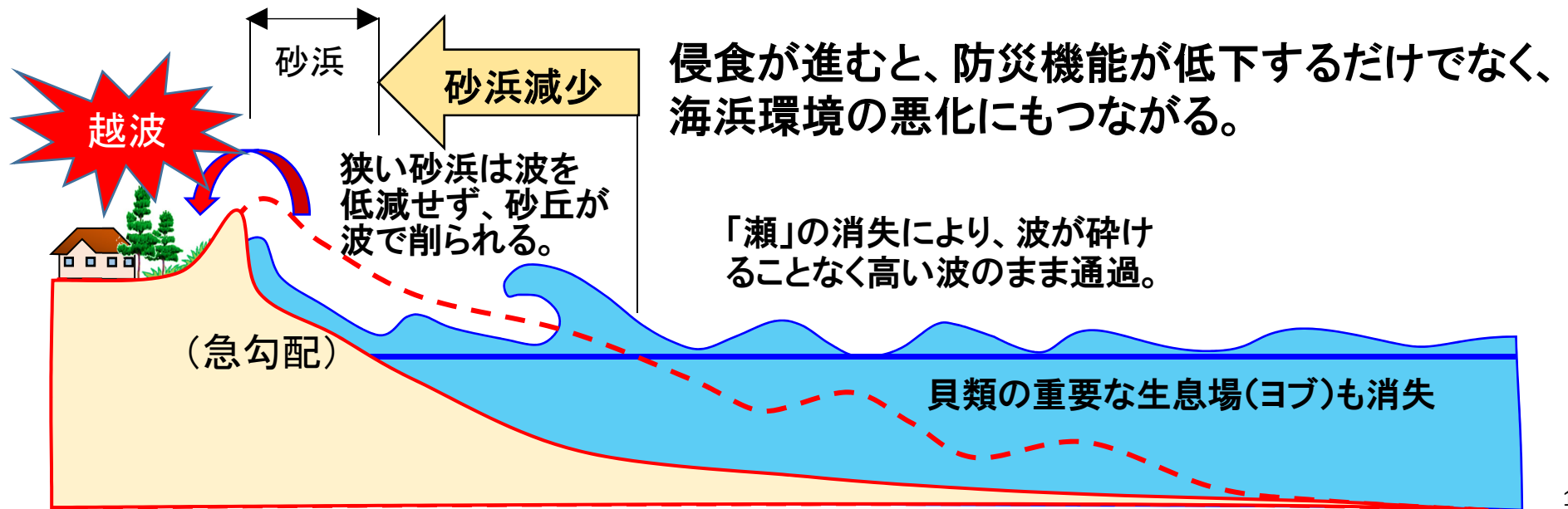
(1) 基本方針の前提となる考え方

今回の侵食対策計画においても、これまでの保全方策を踏襲

九十九里浜における砂浜の保全方策

九十九里の砂浜は、波浪を軽減し、陸域への波の進入を防ぐという**防災機能**を有している。また、雄大な海岸景観を織りなすだけでなく、水産資源の生息空間、レクリエーション活動の場でもある。

九十九里浜における海岸保全対策は、土砂の収支をバランスさせることで海浜の保全を図ることが最も望ましいことから、**サンドリサイクルの実施と併せ**、設置間隔が広く砂浜の利用面や景観面への影響が少ない**ヘッドランド工法**を採用する。



今後の侵食対策の基本方針について

(2) 九十九里浜侵食対策の目標と基本方針

【目標】 防災上必要な『砂浜幅40m』を確保する

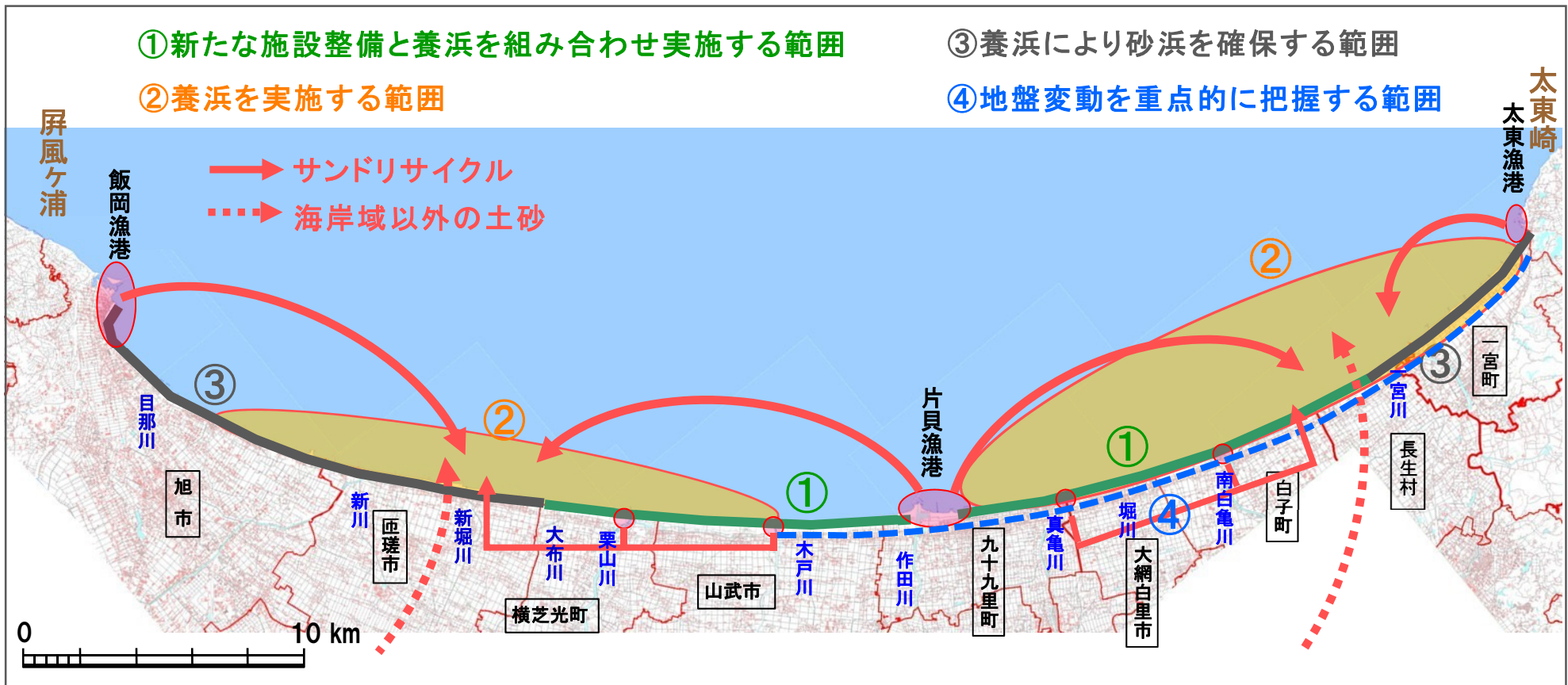
【基本方針】

- ① 土砂の移動量を抑制するヘッドランド等の施設整備と、サンドリサイクルなどの養浜を手順も踏まえ、九十九里浜全体のバランスを考慮し、効果的に組み合わせ実施する。
- ② 養浜については、九十九里沿岸でのサンドリサイクルを積極的に行い、将来的には地域外の土砂による「養浜」の導入も検討する。
- ③ 護岸等の施設で防災対策がされている箇所は、原則として新たな施設整備は行わず、養浜(サンドリサイクル等)による砂浜確保を実施する。
- ④ 地盤変動等の定量的な把握を継続的に行い、侵食対策の効果や影響を検証し、定期的に侵食対策計画の見直しを行う。
- ⑤ 対策は、海岸利用の実情と環境に配慮するとともに、緊急性を考慮して進める。

今後の侵食対策の基本方針について

(3) 九十九里浜侵食対策の基本方針 イメージ図

【基本方針のイメージ図】



- ・ 海岸利用の実情と環境に配慮するとともに、緊急性を考慮して対策を進める。
- ・ 対策の効果・影響を検証し、定期的に侵食対策の見直しを行う。